

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主役です。演出も行います。 **2 ワキ** シテの相手役です。 **3 後見** 舞台の監督役です。

4 地謡 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。 **5 囃子方** 舞台上で楽器を演奏します。

アイ… 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ(間狂言)と呼びます。



能楽体験・字幕解説サービス「能サポ」のご案内

「観能の夕べ」をよりお楽しみいただくため、公演前に解説や能楽体験を実施します。能楽体験は予約した方が対象となります。また、スマホアプリを利用した字幕解説サービス「能サポ」も無料でご利用いただけます。字幕は日本語と英語での表示が可能です。なお、字幕解説は能のみとなります。※詳しくは石川県立能楽堂のホームページをご覧ください。



- 時間: 各回15:00～(40分程度) ※14:30～受付開始
- 定員: 各回20名程度(7/6の囃子体験のみ10名) ※要事前申込・先着順
- 料金: 無料(当日の鑑賞者に限ります) ※足袋をお持ちの方はご持参ください。
- お申し込み／お問い合わせ: 県立能楽堂 TEL.076-264-2598



◀ 字幕解説サービス「能サポ」は事前にこちらのQRコードから「G・マーク」アプリ(無料)をダウンロードしてください。

開催日	内 容	講 師
7月 6日(土)	囃子体験(笛・太鼓)	江野 泉、原岡 一之
7月13日(土)	囃子体験(小鼓・太鼓)	住駒 俊介、麦谷 暁夫
7月20日(土)	謡・仕舞体験	渡邊 茂人、藪 克徳
8月17日(土)	狂言体験	能村 晶人、炭 光太郎

金沢能楽美術館 関 連 行 事

「観能の夕べ プレ講座〈全3回〉」

金沢能楽会の人気能楽師が、能の見どころを分かりやすく紹介します。

参加無料
(要観覧料、要申込)

第1回	第2回	第3回
7/5(金) 14:00～15:00 講師: 藪 克徳 [解説演目: 7/6・13・20の能]	7/21(日) 10:30～11:30 講師: 渡邊 茂人 [解説演目: 7/27、8/3・10の能]	8/11(日) 10:30～11:30 講師: 佐野 弘宣 [解説演目: 8/17・24・31の能]

■ お申し込み・お問い合わせ: 金沢能楽美術館 TEL.076-220-2790
※詳しくは金沢能楽美術館のホームページをご覧ください。

アフタートークのご案内

公演終了後に、当日の公演について出演者と楽しくお話してみませんか? 参加をご希望の方は事前に県立能楽堂へご連絡ください。当日の飛び入り参加も大歓迎!

第1回	7/13(土) 講師: 渡邊 茂人、飯嶋 六之佐	第2回	8/31(土) 講師: 渡貫 多聞、後藤 尚志
-----	-----------------------------	-----	----------------------------

- 時間: 各回公演終了15分後より30分程度
 - 料金: 無料(当日の鑑賞者に限ります)
 - 会場: 見所
 - お問い合わせ: 県立能楽堂 TEL.076-264-2598
- ※詳しくは石川県立能楽堂のホームページをご覧ください。



◀ 石川県立能楽堂
ホームページ

写真提供: (公社)金沢能楽会



世界無形文化遺産 能 楽

観能の夕べ

今触れてほしい伝統文化が、ここにある

毎週
土曜日開催
全 9 回

2024
7/6_土・8/31_土
17:00開演 (16:00開場 / 19:00頃終了予定)
※詳しい日程は中面をご覧ください。

能楽体験
(全4回)
※詳しくは裏面を
ご覧ください。

通常公演 / 各 **1,500円**
加賀公演 / [7月27日] **1,500円**
会場: 團十郎芸術劇場うらら(小松市)
企画公演 / [8月3日・10日] 各 **2,500円**
特別公演 / [8月24日] **3,000円**
※当日券同額 ※各回解説付き

チケットの
お求め

石川県立能楽堂 (076-264-2598)
石川県音楽堂チケットボックス (076-232-8632)
金沢能楽美術館 (076-220-2790)
香林坊大和プレイグaid (076-220-1332)
石川県小松市團十郎芸術劇場うらら (0761-20-5501) ※7/27公演のみ

※石川県立能楽堂・團十郎芸術劇場うらら以外でのチケット販売は、各公演日の3日前までとなります。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。
7/27加賀公演の入場券(高校生以下)につきましては、團十郎芸術劇場うららでもお求めいただけます。

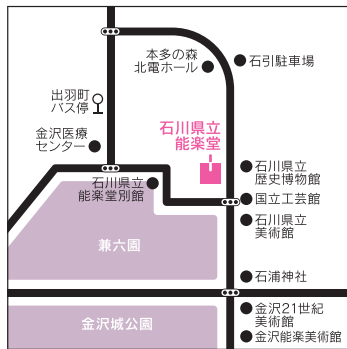
主催 / いしかわの伝統文化活性化実行委員会
協力 / 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会

【会場・お問い合わせ】
石川県立能楽堂 TEL&FAX: 076-264-2598

【7/27 加賀公演(小松市)についてのお問い合わせ】
いしかわの伝統文化活性化実行委員会(石川県文化振興課内)
TEL: 076-225-1372 FAX: 076-225-1496

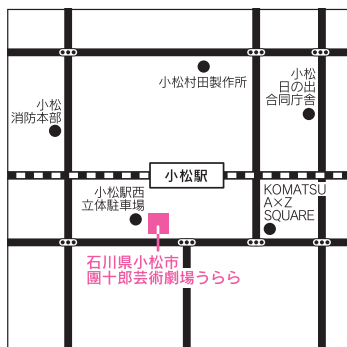
K a g a
H o s h o
I n o h
T h e a t e r

国と県の補助により、お手ごろな料金で本格的な伝統芸能を特別にご鑑賞いただけます。



会場へのアクセス

金沢駅兼六園口(東口)6
番のりば 北鉄バス 出羽町
バス停より徒歩3分



【7/27 加賀公演】
会場へのアクセス

・JR小松駅・IRいしかわ鉄
道小松駅西口から徒歩2分
・北陸自動車道小松ICから
10分



日本の伝統美と 幽玄の世界に浸る 世界最古の 舞台芸術

能楽とは What's Nohgaku?

「能楽」は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、「能」と「狂言」から成ります。日本で最初にユネスコ無形文化遺産に登録された世界が認める伝統芸能です。
「能」では、笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。一方「狂言」は、庶民の日常生活を題材とした喜劇であり、会話を中心に物語が展開します。

加賀宝生 Kaga Hosho

江戸時代、能は幕府の式楽となり、各地の藩でも能が盛んになりました。加賀藩前田家は能の宝生流(5流派の1つ)を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、発展を遂げています。

石川県立能楽堂 Ishikawa Prefectural Noh Theater

能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年全国初の独立した公立能楽堂として開館し、令和4年に50周年を迎えました。能舞台は、昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので、国の有形文化財に登録されています。



石川県立能楽堂
ホームページ



石川県立能楽堂
ホームページ

7.6 |土| ^{こう やく ねり} 膏薬煉 炭 光太郎

鎌倉の膏薬煉と上方の膏薬煉が大名人と名乗り、相手と勝負をしようと旅に出てぶつかり出会います。互いに系図や薬種を語り、最後に膏薬を鼻につけて吸いくらべをしますが…。

＜能＞ ^{こ ちょう} 胡蝶 松田 若子

都を訪れた旅僧が梅を眺めていると、女が現れる。女は、自分は胡蝶の精だと明かすと、冬に咲く梅だけは縁がないと嘆き姿を消す。その夜、僧が経を手向けると、胡蝶の精が本来の姿で現れ、梅との出会いを喜び舞う。

7.27 |土| ^{お ぼ が さけ} 伯母ヶ酒 中尾 史生

酒好きの甥は、酒屋を営む伯母のもとへ度々酒をせがみにいきますが、伯母がケチでなかなか呑めません。いろいろな口実を使って酒にありつこうとしますがうまくいかないので、自身が鬼になって叔母を騙して酒を呑みますが…。

＜能＞ ^{いわ ふね} 岩船 高橋 憲正

帝の命を受け、高麗(こま)や唐土(もろこし)の宝を集めていた勅使は、一人の童子と出会う。童子は帝への捧げ物として宝珠を捧げ、天の岩船が漕ぎ寄せてくると伝える。童子こそ岩船の漕ぎ手天の探女(さくめ)であった。やがて岩船を守護する龍神が現れ、天の探女と協力して岩船を引き、八大龍王の力も得て、金銀珠玉を積み上げる。

8.17 |土| ^{いな ぼ とう} 因幡堂 炭 哲男

大酒呑みの妻を持つ男が、妻の留守中に離縁状を送りつけ、新しい妻を得るために因幡堂の薬師へ妻乞いにいきます。薬師のお告げを聞いた男が、早速新しい妻に出会えるという場所へ行くと、そこには女性が一人立っていて…。

＜能＞ ^{む っ ー} 六浦 福岡 聡子

都の僧が六浦の里の寺に立ち寄ると、紅葉する木々の中に一葉も紅葉していない楓を見つける。どこからともなく現れた女が、この楓が紅葉しない栄誉の謂れを語り、自らを楓の精であると明かして消える。やがて楓の精が再び現れ四季のあわれを語り、舞う。

7.13 |土| ^{こ ぶ うり} 昆布売 能村 晶人

共を連れずに出かけた大名は、自身で持った刀を持たせようと、通りかかった昆布売に無理やり持たせませす。刀の持ち方を教えたり自分の家来のような扱いをされた昆布売は、刀を抜いて大名を脅し…。

＜能＞ ^{せっ しょう せき} 殺生石 渡邊 茂人

那須野の原の巨石のほとり。玄翁の前に現れた女は石の謂れを語り、自らを石魂であると明かして消える。その場で玄翁が仏事していると忽ち石が二つに割れて本性を現した悪狐が、自らの悪行と調伏退治された有様を物語る。

8.3 |土| ^{ふ す} 附子 清水 宗治

主人は用事があるため、太郎冠者と次郎冠者に留守番を命じます。その際に猛毒の附子があるので気をつけるように言い残します。附子が気になる二人の冠者は、桶の紐を解き蓋を開けて中を見てつい…。

＜能＞ ^{ねえ} 鶴 佐野 玄宜

旅の僧が、芦屋の里で宿を借りようとするが断られ、里人の勧めで川沿いの御堂に泊まる。夜、そこに現れた舟人は、自分が鶴の亡霊であると明かし、源頼政に退治された時の様子を語って消える。僧が説経していると、鶴の亡霊が元の姿で現れ、頼政が鶴討伐後に剣を賜ったことなどを語り、救いを求めながら消えて行った。

8.24 |土| ^{とおる} 融 大坪 喜美雄

＜狂言＞ ^{うり ぬす びと} 瓜盗人 野村 万之丞

瓜畑の主である百姓は、鳥獣から畑を守るためにかかしを設置します。その夜、瓜盗人が畑に侵入しますが、暗くて瓜が見つからず、ごろごろ転がって瓜を取っているうちにかかしにぶつかってしまい…。

＜能＞ ^{ふな べん けい} 船弁慶 後之出留之伝 宝生 和英

源義経は、家来の弁慶らと西国を目指す都落ちの途次、後を慕ってきた静御前と涙の別れを果たす。やがて船出すると俄かに海が荒れ、平知盛の亡霊一団が襲い掛かってくるが、弁慶と共に追っ払い祈り伏せる。

【宝生流二十代宗家がシテを務めます】

7.20 |土| ^{さっ か} 咲嘩 炭 哲男

主人は都の伯父に連歌の手解きをしてもらうため、太郎冠者に伯父を呼んで来るように命じます。伯父を知らない太郎冠者は、都で伯父と名乗る男を連れて帰るが、その男は咲嘩(大盗人)だと気づき…

＜能＞ ^{よし の しか} 吉野静 広島 克栄

吉野山衆徒の追っ手から逃げる源義経。家来の佐藤忠信は一計を案じ、様々な噂や噂を広め、衆徒を欺く。そこに静御前が現れ面白く舞を舞い、衆徒を引き止め、義経は無事落のびて行く。

8.10 |土| ^{かき やま ぶし} 柿山伏 山田 譲二

修行の帰り道、喉が渇いた山伏は道中で柿の木を見つけます。柿の木へ登り柿を食べて喉を潤していると、そこへ柿畑の持ち主が見回りにあらわれ山伏を見つめます。木の陰に隠れた山伏を見て、動物の真似をさせてからかっていると…。

＜能＞ ^{ちょう りょう} 張良 佐野 由次

漢の高祖の臣下張良は夢を見た。馬上の老人の脊を拾ったところ、老人が五日後ここに来れば兵法の奥義を伝えたと約束する、という内容だった。張良は約束の場所へ向かうが遅刻してしまい、老人は怒ってまた五日後に来るよう約束して消える。再び向かった張良の前に、黄石公という老人が現れる。襲い掛かる大蛇から脊を取り戻し、老人に履かせた張良は兵法の奥義を授かる。

8.31 |土| ^{ね おん きょく} 寝音曲 能村 晶人

主人が太郎冠者に自分の前で謡を謡うように命じます。太郎冠者は、酒を飲んだうえ妻の膝枕でないと謡えないと嘘をつき、主人が膝枕をすることになると、寝ていないと声が出ないと言いつつ…。

＜能＞ ^{つね まさ} 経政 島村 明宏

仁和寺の僧行慶は、一の谷の合戦で討ち死にした平経政を弔うため、経政が愛用した琵琶「青山」を仏前に置き、管弦講(音楽を奏でる法要)を行う。その夜、経政の霊が現れ、昔を懐かしみながら琵琶を奏で舞うが、やがて憤怒の思いが沸き上がり、戦いに苦しむ姿を見せる。経政はその姿を見られまいと燈火を消し、暗闇の中に消えて行く。